

大村秀章 愛知県知事

- 本日は、この「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」完成記念式典に、ようこそお越しいただきました。心より感謝を申し上げます。
- また、イスラエル大使をはじめ、御来賓の皆様、ありがとうございました。
- さて、このメモリアルは、およそ3年の準備期間をかけ、日本、イスラエル、リトアニア、アメリカ、カナダ、フランスなど、多くの国のみなさんのご協力により、本日、完成の運びとなりました。杉原家の皆様、外務省外交史料館ならびに有識者の皆様、そして杉原ビザを受けて命を救われた皆様、そしてその御遺族の多くの皆様に厚く御礼申し上げます。
- このメモリアルでは、1940年の7月から8月にかけて、リトアニア・カウナスの日本領事館で行われた杉原千畝さんのビザ発給の状況や、その歴史的背景、ビザを受けたユダヤ人難民のその後の足取り、ユダヤ人難民を支援した日本の多くの方々を紹介しています。さらに、杉原さんの幼少期から晩年までの生涯など、杉原さんに関わる事柄を幅広く展示しております。
- 中でも、メイン展示コーナーにあります、7人の杉原ビザ受給者のエピソードは、いずれも胸を打つものばかりです。
- メインは、杉原さん御本人の等身大ブロンズ像、そしてユダヤ人家族に今まさに杉原ビザを渡そうとしている場面を再現しました。そして、杉原ビザリスト、2000 数百名を超えるリストをすべて陶板に焼き付けて展示をさせていただきました。どうか多くの方にご覧いただきたいと思います。
- そして、杉原サバイバーのお一人で、現在唯一御存命のアメリカ、シカゴ・マーカンタイル取引所グループの名誉会長である、レオ・メラメド氏に1か月前に、東京でお会いすることができました。
- そのときに、今回の展示で使わせていただいた、メラメドさんの6歳の時の写真をはじめ今回の施設をフォトブック、アルバムにして差し上げました。メラメドさんからは、「この写真は、私の母がポーランドの家から持ち出すことのできた唯一の写真です。」とご本人から言われました。感情があふれ出るような言葉でした。メラメドさんは今年86歳になられますが、当時のことを鮮明に記憶しておられる様子でした。そして戦後、メラメドさんはアメリカの金融界の第一人者となり、世界ではじめて金融先物取引を始めた方であります。今回日本が金融先

物取引をはじめ今年で30年になります。ですから30年前にメラメドさん、シカゴ取引所グループの指導を得て、日本の東京で金融先物取引が始まったのであります。それだけ日本に対する恩返しということをおられました。こうした杉原さんの行動が、一人の人間に与えた影響に、私は言葉にならないくらい深い感動をいたしました。

- ・杉原千畝さんがビザを発給してから、今年で78年がたちますが、杉原さんの行いは決して過去のものではなく、未来に向かって大きな光をもたらすものであると私は確信をいたしております。
- ・このメモリアルは、475平方メートルと大きな場所ではありませんが、人間の良心、善がここに詰まっています。そして世界に、これが広がっていくことを願っております。
- ・そして、今日も、杉原さんの行為をきっかけとして、たくさんの方々が、杉原さんの母校、旧制第五中学校、瑞陵高校にお越しくださいました。こうした繋がりが世界に向かって広がっていくことを心より祈念いたします。
- ・そして本日お集まりの皆様にご挨拶申し上げます。
- ・心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。